

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：送迎行動分析	
日付：11月 02 日（日）曜日、セッション時間：09：00 ～ 10：30	
司会者名（所属）：朝倉康夫（神戸大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <p>セッションタイトルは送迎行動分析であったが、送迎を直接扱った研究は#164 のみであり、これを含む 3 本の論文に共通のキーワードは「外出（行動）」である。とりわけ、中山間地のように交通インフラの供給が十分でない地域や、移動支援を必要とする高齢者のようにトリップメーカー側に行動制約要因が存在するときのモビリティ確保について、研究の重要性が議論された。</p>
	<p>（164）発表者名（所属）：前山圭司（広島大学）</p> <p>移動制約者を送迎するという行為が、送迎交通を提供する側の行動をどのように制約しているかについての研究であり、Nested Logit モデルに基づくシミュレーション分析により、地域の高齢化や施設配置計画の影響を調べた論文で、興味深い示唆が得られている。</p>
	<p>（165）発表者名（所属）：金 相俊（首都大学東京）</p> <p>長野県須坂市における行動調査を、駅へのアクセス交通手段の違いによるグループ別に集計し、その特徴を分析した研究である。グループの定義の妥当性について議論された。</p>
	<p>（166）発表者名（所属）：植村 俊史（九州大学）</p> <p>高齢者の私的目的交通の出発時刻選択のモデル化とパラメータ推定に関する研究である。モデル構造の意味について議論された。</p>